

新元号確定時における「公金振込システム」のオペレーション

「公金振込システム」において、日付の入力または画面/帳票のどちらかが表示が和暦である場合、下記のオペレーションを行って下さい。

I. <元号マスタ登録>

和暦を使用する場合に元号マスタ登録が必要です。
メインメニューから6. システム管理>7. 元号マスタの画面へ遷移します。

- (1) 「登録 (I)」ボタンを押下してください。(登録状態となり元号マスタ登録が可能です。)

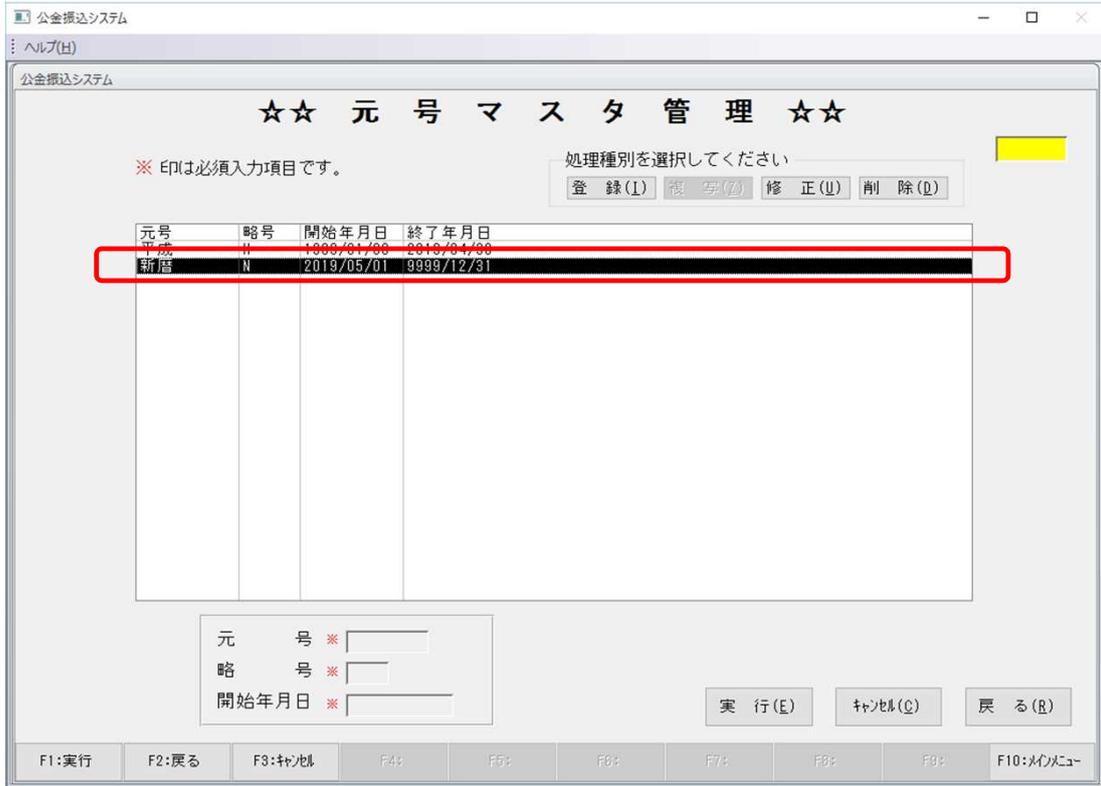
元号	略号	開始年月日	終了年月日
平成	H	1989/01/08	9999/12/31

元号 ※ 新暦
略号 ※ N
開始年月日 ※ 2019/05/01

- (2) 元号、略号、開始年月日を入力して、「実行」ボタンを押下します。
確認画面で「はい」ボタンを押下します。

2019年4月1日以降に発表された正式な元号、略称を入力してください。

(3) 「公金振込」で新元号が使用可能になります。



II. <元号規定値変更>

元号規定値とは、元号略号の画面初期表示を規定した値です。

メインメニューから6. システム管理> 8. システム設定の画面へ遷移します。

- (1) 元号規定値を、新元号の略号を選択して、「実行」ボタンを押下します。
確認画面で「はい」ボタンを押下します。

公金振込システム

ヘルプ(H)

公金振込システム

☆☆ システム設定 ☆☆

※のある項目は必須入力項目です。

入力に使用する暦 和暦 西暦

元号規定値 ※

印刷に使用する暦 和暦 西暦

処理年度 2019

処理月度 3

前回振込日 2020/06/03

前回バックアップフォルダ

E B 連携対象パス

土日入力 可 不可

実行(E) 戻る(B)

F1:実行 F2:戻る F3: F4: F5: F6: F7: F8: F9: F10:メニュー

- (2) 各画面の初期表示が新元号略号になります。

公金振込システム

ヘルプ(H)

公金振込システム

☆☆ システム設定 ☆☆

※のある項目は必須入力項目です。

入力に使用する暦 和暦 西暦

元号規定値 ※

印刷に使用する暦 和暦 西暦

処理年度 2019

処理月度 3

前回振込日 2020/06/03

前回バックアップフォルダ

E B 連携対象パス

土日入力 可 不可

実行(E) 戻る(B)

F1:実行 F2:戻る F3: F4: F5: F6: F7: F8: F9: F10:メニュー